

くらしと安全 A 対照表 (H27.8版)

家庭基礎	
1 家庭の 及一び生 福と祉家 族・	ア 青年期の自立と家族・家庭 (ア) 青年期の自立 (イ) 生活と意思決定
	イ 子どもの発達と保育 (ア) 子どもの生活と家族・家庭 (イ) 子どもの育つ環境
	ウ 高齢期の生活 (ア) 高齢期の特徴と生活 (イ) 高齢社会を生きる
	エ 共生社会と福祉 (ア) 家族・家庭と社会的支援 (イ) 共生とコミュニティ
	オ 消費生活と生涯を見通した経済の計画 (ア) 消費者問題と消費者の権利 (イ) 生涯の経済計画とリスク管理
2 生活の 自立及 び消費 と環境	イ 被服管理と着装 (ア) 被服の機能と着装 (イ) 被服の管理と計画
	ウ 住居と住環境 (ア) 住居と家族の生活 (イ) 安全で環境に配慮した住生活
	エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画 (ア) 消費者問題と消費者の権利 (イ) 生涯の経済計画とリスク管理
	オ ライフスタイルと環境 (ア) 消費生活と環境とのかかわり (イ) 環境負荷の少ない生活への取り組み
	カ 生涯の生活設計
ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	

くらしと安全 A (1 年次)	
ア 災害と家族 (ア) 災害に負けないくらし (イ) 生きるための備え (発災前) (ウ) 命を守るために (発災～10時間に必要なこと) (エ) 生きのびるために (10時間～100時間に必要なこと)	1 人と 災害
イ 次世代へのバトンタッチ (ア) 命の尊さ (イ) 未来を担う子どもの成長・発達	
ア くらしと衣服 (ア) 衣服の特徴と災害への対応 (イ) 災害時の衣服	2 くらし と災害
イ くらしと食事 (ア) 食品の特質、状況を踏まえた調理 (イ) 食の安全と災害 (ウ) 食品と調理 (災害時の調理) (エ) 環境と食事	
ウ くらしと住まい 災害からの生活再建	
エ くらしのデザイン 高校卒業後の生活	
オ くらしの改善 ホームプロジェクト	

保健	
1 現代 社会と 健康	ア 健康の考え方 (ア) 国民の健康水準と疾病構造の変化 (イ) 健康の考え方と成り立ち (ウ) 健康に関する意志決定や行動選択 (エ) 健康に関する環境づくり
	イ 健康の保持増進と疾病の予防 (ア) 生活習慣病と日常の生活行動 (イ) 喫煙、飲酒と健康 (ウ) 薬物乱用と健康 (エ) 感染症とその予防
	ウ 精神の健康 (ア) 欲求と適応機制 (イ) 心身の相関 (ウ) ストレスへの対処 (エ) 自己実現
	エ 交通安全 (ア) 交通事故の現状 (イ) 交通社会に必要な資質と責任 (ウ) 安全な社会づくり
	オ 応急手当 (ア) 応急手当の意義 (イ) 日常的な応急手当 (ウ) 心肺蘇生法
通 2 じる生 涯健康を	ア 生涯の各段階における健康 (ア) 思春期と健康 (イ) 結婚生活と健康 (ウ) 加齢と健康
	イ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 (ア) わが国の保健・医療制度 (イ) 地域の保健・医療機関の活用
	ウ 様々な保健活動や対策
3 社会 生活と 健康	ア 環境と健康 (ア) 環境の汚染と健康 (イ) 環境と健康にかかわる対策
	イ 環境と健康の保健 (ア) 環境保健にかかわる活動 (イ) 食品保健にかかわる活動 (ウ) 健康の保持増進のための環境と食品の保健
	ウ 労働と健康 (ア) 労働災害と健康 (イ) 働く人の健康の保持増進

くらしと安全 A (2 年次)	
ア 災害と防災・減災 (ア) 災害の定義と歴史 (イ) 防災と減災	1 災害 と安全
イ 災害から身を守る (ア) 地震と津波 (イ) 風水害 (ウ) その他の自然災害 (エ) 避難行動と帰宅行動	
ア 健康を考える (ア) 健康水準と疾病構造 (イ) 健康の考え方と健康の成立 (ウ) 健康の保持増進とヘルスプロモーション	2 健康 と災害
イ 生活習慣病と感染症 (ア) 生活習慣病 (イ) 運動と休養 (ウ) 喫煙・飲酒・薬物乱用 (エ) 感染症	
ウ 精神の健康 (ア) 欲求と自己実現 (イ) 心身相関 (ウ) ストレスと対処法	
エ 災害時の病気とけが (ア) 災害時の病気とけが (イ) 災害後の病気とけが	
オ 応急手当 (ア) 応急手当の意義 (イ) 日常的な応急手当 (ウ) 心肺蘇生法 (エ) 応急手当の実践	
カ 高齢者と災害 (ア) 高齢者の特徴と理解 (イ) 高齢者に関する制度 (ウ) 共生社会	3 環境 と災害
ア 保健・医療制度と災害 (ア) わが国の保健・医療制度や機関 (イ) 保健活動や対策	
イ 交通安全と災害 (ア) 交通事故の現状と防止 (イ) 安全な社会づくり (ウ) 防災のための社会づくり	
ウ 労働者と災害 (ア) 労働者と健康 (イ) 労働災害と災害	
エ 環境と災害 (ア) 環境汚染と環境保健活動 (イ) 環境汚染と災害	
ア 災害とボランティア (ア) 様々なボランティア活動 (イ) ボランティア活動の実践	4 災害 と復興
イ 復興に向けて (ア) 復興に関する支援制度 (イ) 復興の実際	
ウ 探究活動	

※各項目には、防災や災害に関する内容が含まれている。

・さまざまな災害から自らの命、家族、暮らしを守るための基礎的、基本的な知識と技術を総合的な視点で習得させ、安全な生活を送るための衣食住の在り方、さらに災害時の対応を主体的に解決し実践できる防災力を育てる。

・災害時に起きる生体反応や心理的反応等の健康影響を知り、災害時の救急救命、看護、衛生管理など実践力を身につけるとともに、災害が環境と生活に及ぼす影響を多角的に捉えながら、生涯にわたる健康を考える。また災害が原因で起きる保険、労働等の問題点を理解し、ボランティアなどの被災地支援や復興策を学ぶ。

・防災行政と災害医療の実態とその現状・対策を学ぶとともに、災害時の報道のあり方や災害を伝承・継承するための方法を考える。